

十勝川さけ，ます，蕃殖保護組合長として道に寄附予定のもの

場名	名称	新築年月	寄附年月	構	造	坪数	金額
打内採卵場	蓄養池	昭和27.9.	寄附未採納	木	製	7,500.00	2,500,000
幕別事業場	養魚池	30.10.	〃	〃	〃	200.00	360,000
札内事業場	〃	30.10.	〃	〃	〃	240.00	450,000

編 集 後 記

○スタツセン氏の熱心な行動と意見は反響をよんだ。水質汚濁防止法は日の眼をみず、意気込みの割にはしぼんだような形になってしまった時、氏は通産、農林等の関係官を呼んで、積極的な解決を図るよう防止庁をつくれ、と要望したのはなんといつても本年の頂点であろう。しかも外国人からの意見なのだから、まことに人もなき次第ということにもなろう。

しかし、一方五十嵐博の「北海道における水質汚濁の調査研究」は私たちの手元から刊行された。この点ではいくらか国際的にもものがいえようか。

○巻頭写真は菊地氏、写真では恐らく当場の第一人者で、出版物には菊地氏の写真が大分使われている。本誌での扱いはこれをはじめ、今後益々のご研究をお願いします。

○今号には藤岡氏の原稿が掲載出来た。こう

した現地の研究は、なかなか貴重である。是非ご投稿をお願いしたいが、余りにも大きな報告になると本誌の性格上掲載が困難になることもある。宜しくご勘考の上振つてご投稿を。

○比佐氏の「北洋雑記」はもつと豊富なものにしてほしかつた。しかし、小誌には余り関係のない部分があり、また時期的なずれもあつて良稿を没にしている。同氏は雑誌「水産界」にまとまつたものを書いているので詳しくは同誌を。

○本誌、部数が限られていた頃は申込を断るのに骨が折れたもの。今では相当の余裕があるのだが、申込がない。御希望の方は佐々木事務官まで。

○さい先の悪かつた今年の鮭漁、どうやら3割減と止まり、まあまあというところ。しかし、大手の北見、根室、十勝は健在、暗くなる必要はない。
(秋庭)

『魚と卵』編集委員

さけ・ます・ふ化場

農林事務官

秋庭鉄之

農林技官

佐々木正夫

道立水産孵化場

長沢有晃

技術吏員

大東信一

大屋善延

昭和三十一年十一月一日印刷
昭和三十一年十一月十日発行

発行

札幌市外中の島
北海道さけ・ます・ふ化場
北海道立水産孵化場

場長 荒井定治

印刷

札幌市南一条東四丁目
中西写真製版印刷株式会社